

チーム名 NPうーさん
エントリー番号 6-1

チケットあるけど相手がいない



懸賞で当たったチケットがペアチケットでした

友達を誘うも
「面白くなさそう」「好きじゃない」

そんな時、あなたは諦めてチケットを
捨てますか？
誰かに譲りますか？
それとも…？

本ソフトウェアは諦めたくない人のために
友達の友達の中から「行きたい」「趣味が合う」という人を
紹介という形でマッチングするソフトウェアです

目的・背景

友人の紹介による、趣味が合う人とのマッチング

背景

懸賞や披露宴でのビンゴの商品はペアチケットが定番になってきている。
ペアチケットを入手することは昔と比べて比較的多くなっている。

しかし、周りの友達と「趣味が合わない」「予定が合わない」等の理由により、
一緒に行く相手がいらない人も多く存在する。

そのような時、ほとんどの人はチケットを誰かにあげようとしたり、捨てようとしたりする。
つまり自分がチケットを使うことを諦めるのである。

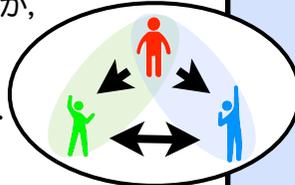
もしこの状況で一緒に行ける人、それも趣味が合う人が突如現れたらどうだろうか？
きっと、それ（映画、イベント、ライブ）が好きな人同士で行くのだから楽しいに違いない。
ただ、インターネット上で募集して、全く知らない人と行くのは**不安だ**。

そこで私達が提案する本ソフトウェアを使えば、**安心して**、一緒に行く人を探すことができる。

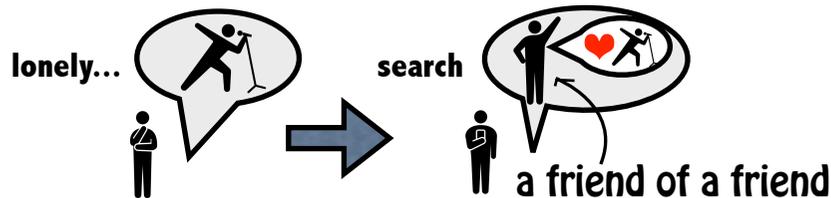
目的

チケットの有効活用

チケットはあるけど相手がいらない人  が、
友人  に
趣味の合う友人  を紹介してもらおう。



趣味が違う友人と無理して行くより、
趣味の合う新しい友人と行く方がお互いにとって良い。



趣味の輪を広げる

インターネット上で知り合った
同じ趣味の人とは情報交換だけ。
実際に会って一緒に何かすると
不安がある。

本ソフトウェアなら相手は友達の友達なので
安心の保証付き。
安心して新しい、ネット上だけではない
人間関係を作れる。



使い方

前提

AとBは友達同士であり、BとCも友達同士だが、AとCには面識は無い。
またAは周りの友達を誘ったが、皆に断られた。

①Aは自分の友達（ここではB）の友達から、
相手（一緒に行きたい人、趣味の合う人（ここではC））を探す。
次に、Bに、どういう意図でCを紹介して欲しいか送る。

友達の友達のリスト（C1, C2, C3...）から探すことを想定している。
ここでのC1, C2, C3...とはBの友達のみということではなく
自分の友達の友達（自分からの距離が2）全てのことである。



選択

A
使用ユーザ

B
Aの友達

②Bは、紹介するかの可否の選択ができる。
可の場合、Cに送る。
(Aの人柄を表す簡単なテンプレートも送る)



否



③Cは、紹介してもらうかの可否の選択ができる。
可の場合、その旨をAとBに返す。
また、迷った場合はBに対してAがどんな人
なのかということを知ることができ、
Bもそれに答える。
それも判断材料にして可否を決定する。



否



否の場合は
その旨をAに送る。
このとき
BとCのどちらからの
メッセージであるかは
明記されていない。

Aの人柄

C
Bの友達

④Cが可ならAはCと本ソフトウェア内でコンタクトがとれる。

他のパターン

友達Aが登録したチケット情報を見たユーザBが「友達Cに興味持ってたな。言ってみるか」と紹介するパターン。
他ユーザAが登録したチケット情報を見たユーザBが、共通の友達Cに紹介を頼むパターン。(①はチケットのリストから選択)



システム

スマートフォンのアプリとして実装することを考えている

✓プロフィール表示

本ソフトウェアの「紹介」という特性上、**実名制**である。
また、自分の友達は名前や性別などの詳細なプロフィールが表示されるが
友達の友達については趣味や所在地などの限られた情報のみ表示されるようにする。
→**先入観なく紹介してもらうことができる**

✓友だち追加

様々な方法があるが、リクエスト制とQRコードを用いた方法を採用。
初回利用時はアドレス帳から友達を選んでリクエストを送信する。
新たに友達を追加するときはQRコードを読み取ってもらって登録する。
→**紹介時の安心をより確かなものにする**

✓登録項目

ユーザは好きなものや興味があることを登録する。
→**より広い友好関係を築くきっかけを増やす**

✓人柄

紹介を頼まれた人は、紹介する人の人柄を
簡単なテンプレートに従って登録しておく。
→**どのような人か分かりやすくなる**

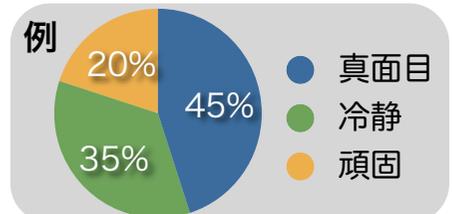
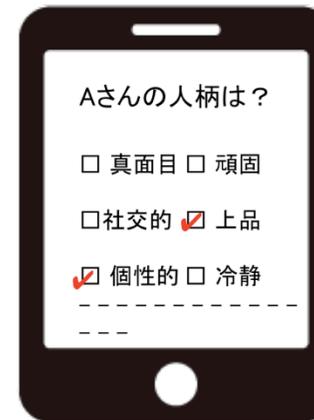
スマートフォンを選択した理由

- 世界中で急速に普及
→多くのユーザ数が見込める
- Android OS, iOSで
開発が容易 
- PCを利用するより
手軽に使用できるため
ユーザ獲得が見込める

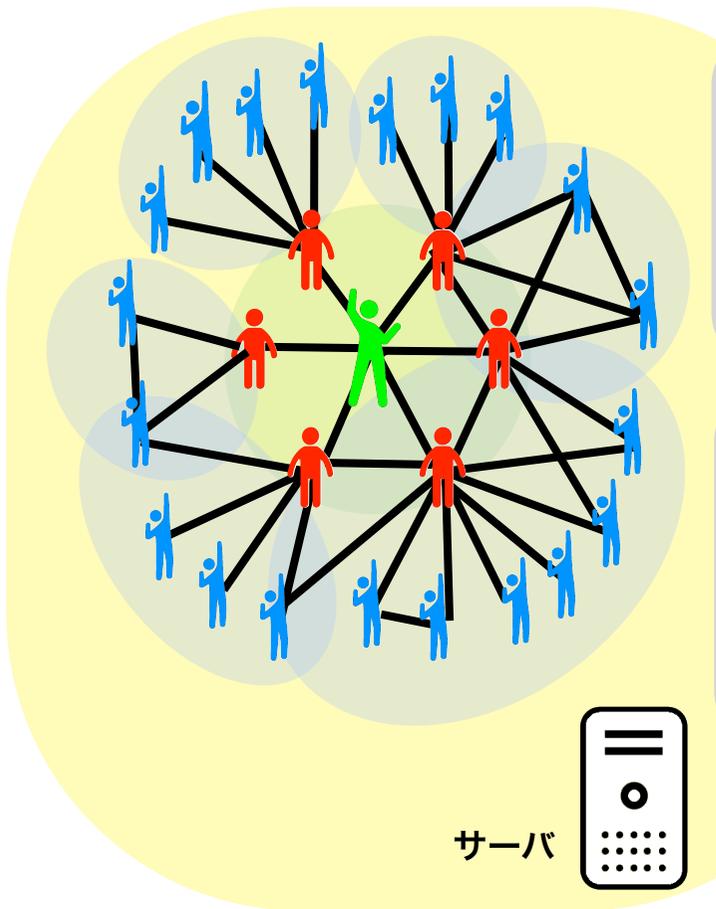
人柄を表すテンプレート

用意された選択肢から
相手の人柄に合ったものを選択する

また、各ユーザは
友人からどう思われているかの
統計が閲覧できる



システム構成



類似度とは？
 ユーザと相手が
 事前に登録している
 趣味や好きなもの、
 所在地などの情報から
 類似度を算出する

仲介人が複数存在する場合
 ③で選択した相手に
 一度断られた場合は
 同じ相手に対し、
 違う仲介人に
 紹介を頼むことはできない

1 アプリを起動し、チケット情報を入力する。

2 ユーザと2ホップの関係にある人の内、
 キーワード検索で該当した人を、
 類似度が高い順にリストアップしてユーザに送信する。

3 ユーザはリストアップされた人の中から一人選択する。

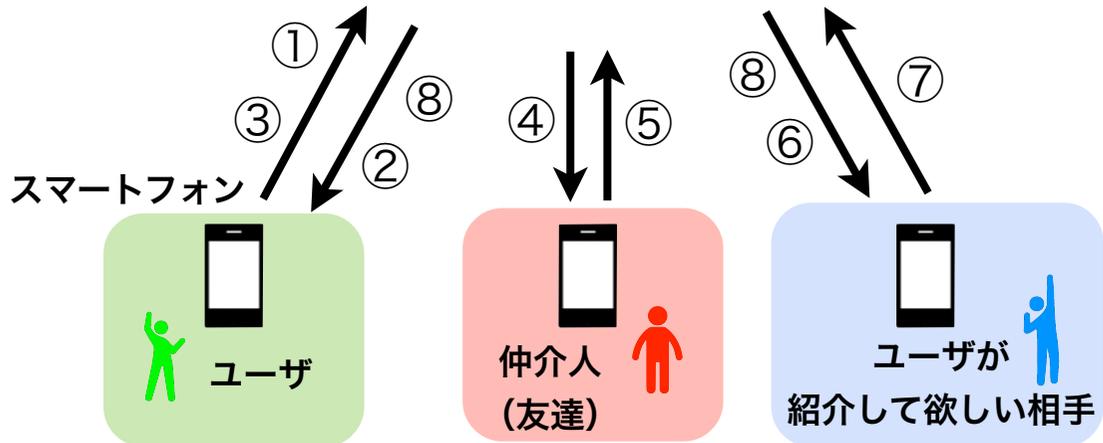
4 サーバは、ユーザとユーザが選択した人との間にいる
 仲介人に紹介リクエストを送信する。
 複数の仲介人が存在する場合はユーザが一人選択する。

5 仲介人はリクエストに対する返答をサーバに送信する。

6 サーバは、仲介人からの返答が承認されたなら、
 ユーザが選んだ人にお誘いとユーザの人柄を送る。

7 ユーザが選択した人はお誘いに対する返答をサーバに送る。

8 返答が承認されたなら、
 サーバはユーザとユーザが選択した人との間に
 チャットルームを開設する。



まとめ

チケットあるけど相手がいない

ペアチケットが手元にあるが、同じ趣味の友達や一緒に行ってくれる友達がいない。
このような状況で一緒に行ってくれる相手を探すのが『チケットあるけど相手がいない』である。
本ソフトウェアは3人によって成り立つ。

ペアチケットを手に入れ、一緒に行く相手を求めている人

友達を紹介する人

一緒にペアチケットを利用する人

それぞれが異なる立場に立つことで、人と人とのつながりが広がっていく。

安心

インターネット上で人を募集することとの違いは「安心」があるかどうかである。
インターネット上で知り合った人と情報交換をすることは多い。
その一方で一緒にどこかへ行く、会うということは事件に巻き込まれるケースも珍しくないため難しい。

しかし、本ソフトウェアは友達の紹介という形で人を探すので、各ユーザがどういう人かということは、別のユーザによって保証される。
つまり、身元がはっきりしているので安心して一緒に行くことができる。

手軽

他SNS、例えばFacebookでも一緒に行く相手を探すことは可能であるが2ホップの関係にある人の趣味を全て見ていくことはとてつもなく面倒である。

本ソフトウェアでは2ホップの関係にある人の中から趣味や好きな事が同じ人を優先してリストアップする。
これにより簡単、手軽に相手を探すことができる。
これは、ペアチケットの相手を探すことに特化したゆえの利便性である。

一人で行って寂しい思いをする人、行くのを諦めて悔しい思いをする人を0に。

